

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4665258号  
(P4665258)

(45) 発行日 平成23年4月6日(2011.4.6)

(24) 登録日 平成23年1月21日(2011.1.21)

(51) Int. Cl.		F I		
AOIK 61/00	(2006.01)	AOIK 61/00		A
AOIK 63/00	(2006.01)	AOIK 61/00		B
AOIK 63/04	(2006.01)	AOIK 63/00		C
		AOIK 63/04		A

請求項の数 2 (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2010-68849 (P2010-68849)	(73) 特許権者	599035627
(22) 出願日	平成22年3月4日(2010.3.4)		学校法人加計学園
(62) 分割の表示	特願2006-354868 (P2006-354868)		岡山県岡山市北区理大町1-1
	の分割	(73) 特許権者	506404854
原出願日	平成18年12月28日(2006.12.28)		株式会社K2ライフラボ
(65) 公開番号	特開2010-166927 (P2010-166927A)		岡山県岡山市北区理大町1番1号
(43) 公開日	平成22年8月5日(2010.8.5)	(72) 発明者	山本 俊政
審査請求日	平成22年3月18日(2010.3.18)		岡山県玉野市田井五丁目46番62号
		審査官	松本 隆彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 人工飼育水による養殖システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルシウムと、カリウムと、ナトリウムの塩化物を水道水や河川水あるいは地下水に添加し、比重が1.004となるように、これらカルシウム、カリウム、ナトリウムの必須成分を天然海水中の存在比と同じ比率で含有した人工飼育水と、  
この人工飼育水を満たした魚の養殖を行うための畜養水槽と、  
畜養水槽の一側端にあって、この畜養水槽との間に通水可能なスリットが設けてあり、畜養水槽内の人工飼育水が循環可能な給水循環部と、  
一端がこの給水循環部に開口し、他端が畜養水槽の底部に開口する人工飼育水の循環可能な循環路と、  
一端が前記給水循環部に開口し、他端が濾過装置および泡沫分離装置を経由して畜養水槽の他部に開口する人工飼育水の循環可能な濾過循環路とを有し、  
この濾過循環路は、畜養水槽から給水循環部内に流入した人工飼育水の上ずみ部分が濾過循環路内に入り込むように前記一端を上方へ上げて設けてある海水魚と淡水魚とを共存させて飼育するのに用いる飼育システム。

【請求項2】

カルシウムと、カリウムと、ナトリウムの塩化物を水道水や河川水あるいは地下水に添加し、比重が1.004となるように、これらカルシウム、カリウム、ナトリウムの必須成分を天然海水中の存在比と同じ比率で含有した人工飼育水と、  
この人工飼育水を満たした魚の養殖を行うための畜養水槽と、